



市立札幌旭丘高等学校

学校の概要

旭丘高校は、1958年に札幌市の人口増と高校進学希望者の増加に伴い、高校新設を願う地域の父母たち市民の熱い運動によって生まれました。以来、アカデミックな校風のもと、各界で活躍する多くの卒業生を輩出しています。2004年からは『21世紀「進学アドバンス」構想』の理念を掲げ、進学重視型単位制へと移行しました。単位制カリキュラムと総合的な探究の時間(サンライズタイム)での探究学習や進路支援などによって、学力だけではなく、人格を確立して社会人として自立し、仲間とともに協働し、より良い未来へと社会を牽引する人を育てることを目指しています。

PTA活動

本校のPTAは、保護者と教職員が力を合わせて、学校における学習活動、部活動、生徒会活動などを見守りながら、生徒一人ひとりが確かな力を身につけ、豊かな人間性を培うことができるよう支援を行っています。具体的には、春の総会や年次集会の開催、旭丘祭での喫茶「マミーズ」の出店、校外視察研修の実施、そして学級懇談会など、PTA役員・学級委員を中心に企画・運営を行っています。



旭丘祭 喫茶「マミーズ」

お菓子や飲み物を販売しています。
売上は学校に寄付しています。



校外視察研修(ニッカウイスキー工場見学)

工場見学や昼食などとおして、普段あまり交流できない他の年次の保護者と楽しく会話ができます。



全国高等学校PTA連合大会

全体講演の他、希望する分科会に参加することで、大変有意義な研修になっています。



北海道高等学校PTA連合大会



公開講座(テニス講座・初級編)

様々な公開講座が企画され、希望する講座に参加できます。